

電気設備工事特記仕様書				
1 工事概要	1 建設工事名 平成26年度岸根県立総合病院（仮称）カルテ棟新築工事			
2 建設工事場所	静岡県 東 地内			
3 建物概要	建物（棟）名称	構造	階数	延床面積
	カルテ棟	プレハブ	1	
4 工事科目（○印のあるものを）	○電灯設備（電灯設備、電灯分岐、コンセント分岐） ・ 誘導照明設備（音声誘導設備、インターホン、トイレ呼出） ○動力設備（動力分岐、動力分岐） ・ 圧力供給設備 ○電機設備 ・ 監視カメラ設備 ○警報設備 ・ 監視管理設備 ○受電設備 ・ 配電・入退室管理設備 ○電力制御設備（遠隔電停、交通制御電停等） ○火災通知装置（自動火災通知機、自動警報、非常警報、ガス警報） ○非常設備 ・ 中央監視制御設備 ○構内通信設備（遠隔電停、交通制御電停等） ○警外無線伝送設備 ○構内交換設備 ・ ○警外無線伝送設備 ○情報表示設備（出退・通報表示、電気時計） ・ ○電力制御設備 ○映像・音響設備 ・ 閉路テレビ設備 ○防犯設備 ・			
5 仕様	1 特記仕様書及び図面に記載されている事項は、下記の国土交通省大臣官庁審判官庁審判部監修仕様書（平成26年版）による。 ○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 2 標準図面は以下の平成26年版による。 ・ 建築工事標準仕様書 ○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 3 図面に明記されていない事項は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により決定する。 (1) 記載特記仕様書 (2)～(5)に対するもの (2) 現場特記仕様書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書 4 特記仕様 (1) 項目は全て適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印のない場合は、×印を適用する。			

14 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出	工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）、OREDASP-6を監督職員に提出するものとする。																								
16 特定建設資材の再資源化率	「建設工事に係る資材の再資源化率に関する規程」（平成12年5月31日建設第104号）の届出の有無 ※届出を要しない（対象工事でない） ・ 届出を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。 (1)分別解体の方法 <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別解体の方法</th> </tr> <tr> <td>・新築工事等</td> <td>建築工事等 ※木</td> <td>・手作業 ・手作業・機械作業併用</td> </tr> </table> (2)特定建設資材等廃棄物の種類と再資源化率を算する取組名称 <table border="1"> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th>再資源化率を算する取組名称</th> <th>所在地</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨から成る建設資材</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・プラスチック・コンクリート</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> 注(1)、(2)については建築士会の表示事項であり、処理施設等を指定するものではない。 受注者の提示する分別解体の方法、施設等異なる場合においても設計変更の対象としない。	工程	作業内容	分別解体の方法	・新築工事等	建築工事等 ※木	・手作業 ・手作業・機械作業併用	特定建設資材廃棄物の種類	再資源化率を算する取組名称	所在地	・コンクリート	-	-	・コンクリート及び	-	-	・鉄骨から成る建設資材	-	-	・木材	-	-	・プラスチック・コンクリート	-	-
工程	作業内容	分別解体の方法																							
・新築工事等	建築工事等 ※木	・手作業 ・手作業・機械作業併用																							
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化率を算する取組名称	所在地																							
・コンクリート	-	-																							
・コンクリート及び	-	-																							
・鉄骨から成る建設資材	-	-																							
・木材	-	-																							
・プラスチック・コンクリート	-	-																							
16 使用材料の選定	工事に使用する材料は、その工事の着手前に、「使用材料（最終）報告書」を監督職員に提出して承認を受ける。																								
17 材料の検査等	現場に搬入したすべての材料について、自主検査記録（任意記録）を提出すること。ただし、別途に定める検査については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した材料と同じ種類の材料を以後同様として提出検査とする。また、製造工場等における材料検査を行う工事は監督職員の指示による。																								
18 緑化ガス対策等	使用する建設機械は緑化ガス対策及び低騒音とする。																								
19 アスベスト分析	※行わない ・ 行う（ ） 箇所																								
20 アスベスト粉じん測定	※行わない ・ 行う（ ） 箇所 測定箇所等は監督職員の指示による。																								
21 検査	工事完了中における技術検定の実施回数等は監督職員の指示による。																								
22 完成図書	現場説明書による。																								
23 電子納品	電子納品特記仕様書による。 電子設計図データの有無（※有り・無し） 該当する電子設計図データは当該工事のために必要な竣工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。																								

9 機器等の取付高さ	図面に特記なき場合は、表2「機器標準取付高さ」を標準とし、監督職員との協議の上決定する。 機器仕様書による場合は次のとおりとする。 (1) 扉の幅が、幅寸及び扉取付距離にあっては800mm、扉取付高にあっては800mmを超える場合は扉を原則として両開きとする。 (2) 扉等が、等法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を有する構造とする。 (3) 扉等の開閉は人が押しにくい構造とし、計器等は納入リダウスとする。 (4) 扉等の開閉は原則として次のとおりとする。 ア 下地処理（裏地ごと） (1) 切断部を必要とする場合は、建設の建群厚が十分得られるよう加工し閉鎖後のフックは完全に消失し、凹凸や歪みは修正して、よこ・油断・さびなどを除去した後、りしめ釘等を打設する。 (2) 引込み用電動機を使用するときは、加工後に扉開又は扉閉した状態に地盤下地を確保する。 イ 下塗り 中塗りの付着性及び耐腐蝕性の高いプライマー塗料後は電着塗料、粉砕塗料等を行う。凹凸がある場合は、パテ内が等しにすりならす下塗りとする。 上塗りの付着性が良く、平滑仕上げを可能にする塗料により行う。 エ 仕上げ 2の区分によって、2層以上の塗布を、平滑美麗な仕上げとする。 (ア) 扉内側の塗料は、メタリック樹脂系、アクリル樹脂系、エポキシ樹脂系等で塗膜強度の高い塗料とする。 (イ) 扉外側の塗料は、アクリル樹脂系、メタリック樹脂系、ポリエステル樹脂系等、耐候耐候性・耐汚染性が良く、塗膜強度の高い塗料とする。 ※ マットは、2.5Y ² 以上 ・ 塗色なし ・ () オ 見えがかり以外の部分については、上記のイのバリエーション等の工事はこれに準じて行う。 カ 下塗り、中塗りの工事に伴って、塗布前に、水垢等を行き留め物に均一にする。 キ 工事における検査結果が合格しない場合は再検査を行う。 (5) 扉外側の塗装はグリーンウォッシュは、次のとおりとする。 ○ 塗料 ・ 樹脂系 ・ ステンレス製 ・ 指示による (6) Oのみの場合、扉に防炎剤を塗布し、仕上りにはカーボン化粧にする。																															
11 空腔壁（呼び壁）	空腔壁には厚入れ（1.2mm以上のビニル製養生紙）を入れる。ただし、厚入れ空腔壁は除く。 ※ 現場計量設備（EM電線） ・ 非電線計量設備（ビニル電線） EM電線は規格等の記載のない場合は、ハロゲンフリー及び有害な材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td>EM-MEES</td> <td>JIS 4271 (4X4X用C30)に準じ、巻線材及びケーブルにJIS規格によるEMF-ブルの新規性ポリエチレンを用いるものとする。</td> </tr> </table>	記号	仕様	EM-MEES	JIS 4271 (4X4X用C30)に準じ、巻線材及びケーブルにJIS規格によるEMF-ブルの新規性ポリエチレンを用いるものとする。																											
記号	仕様																															
EM-MEES	JIS 4271 (4X4X用C30)に準じ、巻線材及びケーブルにJIS規格によるEMF-ブルの新規性ポリエチレンを用いるものとする。																															
13 新築施工	設備機器・設備等の支持、固定は「新築建築等における設備設置ガイドライン（特記事項）」及び「建築設備新築設計・施工指針（日本建築センター）2009年版」による。設計水準地勘は、下記に示す適用水準指針に、機器の重量をもとめるものとする。 設計負担重は、設計水準重量の1/2とする。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設備機器</th> <th colspan="3">設備重量クラス別</th> </tr> <tr> <th>クラス1</th> <th>クラス2</th> <th>クラス3</th> </tr> <tr> <td>上置機・上置機及び吊架</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>中置機</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>地下置機及び吊</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.48</td> </tr> </table> 本指針は、※ 新築上置機を除く。一般の施設とする。 機器の設備重量クラス別の区分は、次のとおりとする。 <table border="1"> <tr> <th>クラス</th> <th>新築上置機を除く施設</th> <th>一般の施設</th> </tr> <tr> <td>5クラス</td> <td>・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等</td> <td>・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等</td> </tr> <tr> <td>6クラス</td> <td>・ 電話設備 ・ 中央監視設備 ・ 非常用設備 ・ 給排水設備（機器を含む） ・ 太陽光発電設備 ・</td> <td>・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等</td> </tr> <tr> <td>7クラス</td> <td>3.0クラス以外の機器等</td> <td>8.0クラス以外の機器等</td> </tr> </table> ※ 本指針はアンカーは原則としておしり形とし、めねじ形を使用する場合は監督職員と協議すること。 ・ 本指針はアンカーは原則としておしり形とし、めねじ形を使用する場合は監督職員と協議すること。	設備機器	設備重量クラス別			クラス1	クラス2	クラス3	上置機・上置機及び吊架	2.0	1.5	1.2	中置機	1.5	1.0	0.72	地下置機及び吊	1.0	0.6	0.48	クラス	新築上置機を除く施設	一般の施設	5クラス	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等	6クラス	・ 電話設備 ・ 中央監視設備 ・ 非常用設備 ・ 給排水設備（機器を含む） ・ 太陽光発電設備 ・	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等	7クラス	3.0クラス以外の機器等	8.0クラス以外の機器等
設備機器	設備重量クラス別																															
	クラス1	クラス2	クラス3																													
上置機・上置機及び吊架	2.0	1.5	1.2																													
中置機	1.5	1.0	0.72																													
地下置機及び吊	1.0	0.6	0.48																													
クラス	新築上置機を除く施設	一般の施設																														
5クラス	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等																														
6クラス	・ 電話設備 ・ 中央監視設備 ・ 非常用設備 ・ 給排水設備（機器を含む） ・ 太陽光発電設備 ・	・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 非常用発電設備 ・ 非常用照明設備 ・ 防災用情報伝送設備 ・ アンテナ、統制台等																														
7クラス	3.0クラス以外の機器等	8.0クラス以外の機器等																														
14 非破壊検査	改修工事ではつり骨束を行う場合、非破壊検査による建築物の事前調査 ・ 行う ・ 行わない																															
15 架空電線	特記なき電柱の、護管、引込み、支線その他の仕様は、電力会社仕様による。																															
16 電力・電話の引込み	電力及び電話引込線の引込方法、位置については電力会社が電気設備工事と打合せのうえ監督職員との協議により施工する。また、外注工事用途などの調査報告を監督職員に対し事前に提出し、申請書作成を行い、申請手続に賛否する費用は受注者の負担とする。																															
17 地上の埋込配管	地上の天井スラブへの埋込配管は、原則として隠れるものとする。																															
18 位置ボックス等	ケーブル送り配管となる天井埋込用器具、スベリ及び感知器の位置ボックスは不要とする。																															

19 地中電線	(1) ハンドヘルドの地中配線は設置の状況に依る事項を補完しとする。 安全電圧（F5000kV、F2000kV、F500kV等） 地中配線は「電気法」・「消防法」 (2) 地中配線の設置高さ 地中配線が特記なき埋設深さは0.6m以上とする。 (3) 高低配線架、荷役ケーブル、警報・通信ケーブル等の地中配線については原則として埋設深さ（ケーブル・ダクト）を警報・通信ケーブル（耐熱のある場合は耐燃架）のほかに中絶に設ける。 (4) 次の箇所に原則として設置を設ける。 ア 建物及びハンドヘルドの出入口及び引出口付近 イ 地中配線の曲線箇所 ウ 壁面深さが30cm以上に（30cm未満な場合はその中絶1箇所） 工務所事務所
20 自立型アンテナマストのベースアンカー	自立型アンテナマスト及び自立型避雷針等のベースプレートのアンカーボルトの設置間隔は500mm標準とする。
21 内部雷保護	山中間地帯等で雷設備を設けていない建物において、機器の制御に10kV用のものである場合は、電線及びケーブル等内部雷保護対策を行う。
22 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有するものとし、(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、断熱用石膏、床材、断熱材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板及び仕上材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (2) 塗料、接着剤、接着剤等はホルムアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はホルムアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (4) 接着剤はホルムアルデヒド、トリエタノールアミン、エチルベンゼンを含有しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (5) (1)～(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを含有しないか、発散量が極めて少ないものとする。
23 化学物質の・・・	・ 要 ・ 不要 測定対象化学物質、測定方法、測定時期、測定対象及び測定回数等については、監督職員の指示による。
24 電線保護物	(1) 合板・断熱材等及び電線管（PFR）及び付属品・ケーブルを保護するものとする。 電力位置ボックス等は、合板製または鋼製とする。鋼製とした場合は管内に接地線を付し、接地ボックスに接地線を接続するものとする。 (2) 金属製保護物 次の取組は、塗装を行う。 (※ 扉外 ・ 設置を続ける場合を除く部分 ・) (3) ケーブル配線の保護 標準仕様書に規定する。合板製または鋼製。合板製の場合は鋼板に鋼線による。 (4) 鋼製保護物の構造 ケーブルを収容する管路的に1区間の自由端は3箇所以内で角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるよう施工する場合はこの限りではない。
26 照明ポール	照明ポールは、次のとおりとする。 ※ 照明器具は必ずフラットタイプを設ける。仕様についてはメーカー仕様とする。 ※ 配電用配管又はフラットタイプを設けるものとする。
26 配線器具	(1) スイッチは原則として2cm以上とし、器具の構造を表示する。 (2) フラットタイプ（O型）のもの ※ 新金属 ・ ステンレス ・ 合成樹脂 (3) フラットタイプは水準高調整付（空室埋めまたは具用材） ※ アルミ ・ 鋼製 (4) 器具の構造に規定するコンソールは、原則として青色とする。 (5) コンソールには設置番号を表示する。 (6) コンソールの送り配線は送り端子を使用する。接続によるものとする。
27 屋外の支持金物	電線管等の屋外支持金物は、原則として次のとおりとする。 ※ ステンレス製 ・ 鋳鋼クッキ
電力・電気設備工事	① 防火用閉鎖器具 建築基準法に規定する非常用閉鎖器具による。 ○ 電線用閉鎖器具 ・ 電線用閉鎖器具（パナチーター ・ 負電機） ○ 電線用閉鎖器具（パナチーター ・ 負電機） ○ 電線用閉鎖器具（パナチーター ・ 負電機）
2 電線管等の地中	金属製において、電線管径は7.5K以下は金属管を標準とする。 (1) 100mm径以下 ・ I ・ II ・ III ・ IV (2) 100mm径以上の電線管 ・ 角鋼管法 ・ 鋼管管法 ・ ネット管法
3 非常用設備	太陽光発電設備特記仕様書による。
4 太陽光発電設備	太陽光発電設備特記仕様書による。
通信・情報設備工事	1 構内情報伝送設備 学校については校内LAN工事特記仕様書による。 2 構内交換機 電話交換機（電子ボックステル機） ・ 電話交換機 電話交換機（電子ボックステル機）は、本工事とする。 100V以下の電話工事 ※ 含む ・ 含まない (1) 100V以下の電話工事 ア・スチール製用器具 ア・スチール製用器具は、露出コンセント（2P15A 2D）を内蔵し、扉には電線に有効なケーブルを備えたものとする。 (2) アンテナマスト ・ 自立形 ・ 壁面形 ・ 標準規格の寸法（ ）mm



L-107 EM-CET38sq E8sq (カルテ機電灯盤 一般系) FEP65
 M-105 EM-CE 14sq (カルテ機動力 一般系) FEP65

L-107 EM-CET38sq E8sq (カルテ機電灯盤 一般系) FEP65

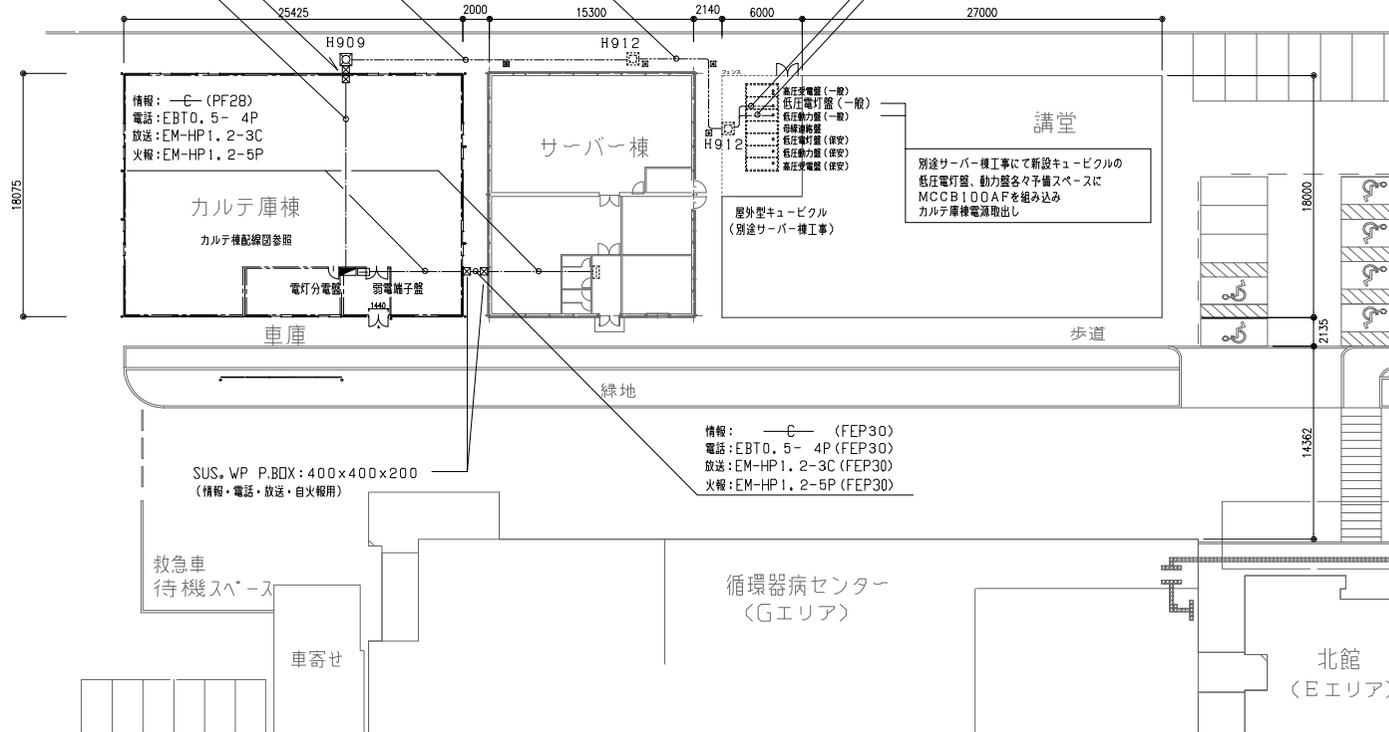
M-105 EM-CE 14sq (カルテ機動力 一般系) FEP65

屋外 SUS WP P.BOX: 400x400x300
 室内 P.BOX: 400x400x300

L-107 EM-CET38sq E8sq (カルテ機電灯 一般系)
 M-105 EM-CE 14sq (カルテ機動力 一般系)

道路 (市道)

道路境界線



情報: C (PF28)
 電話: EBT0. 5- 4P
 放送: EM-HP1. 2-3C
 火報: EM-HP1. 2-5P

電灯分電盤
 1440
 弱電端子盤

情報: C (FEP30)
 電話: EBT0. 5- 4P (FEP30)
 放送: EM-HP1. 2-3C (FEP30)
 火報: EM-HP1. 2-5P (FEP30)

SUS. WP P.BOX: 400x400x200
 (情報・電話・放送・自火報用)

凡例・注記

- H909 HH: 900*900 (中前荷重置)
- H912 別途ハンドホール (サーバー棟工事)
HH: 900*1200 (中前荷重置)
- 埋設表示机

埋設管路には埋設標示テープを敷設
 埋設管路の中継点および曲り箇所には埋設標示机を設置し方向を記す。

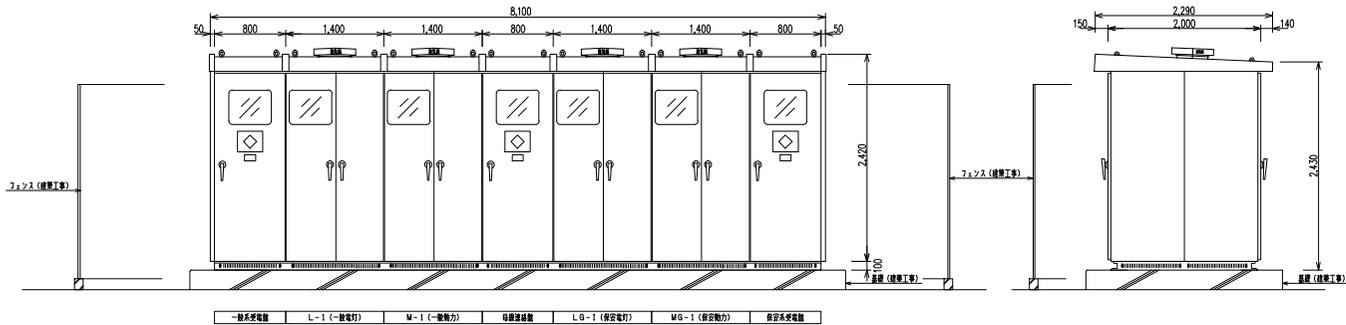
破線表示は別途工事を示す。

<注記>

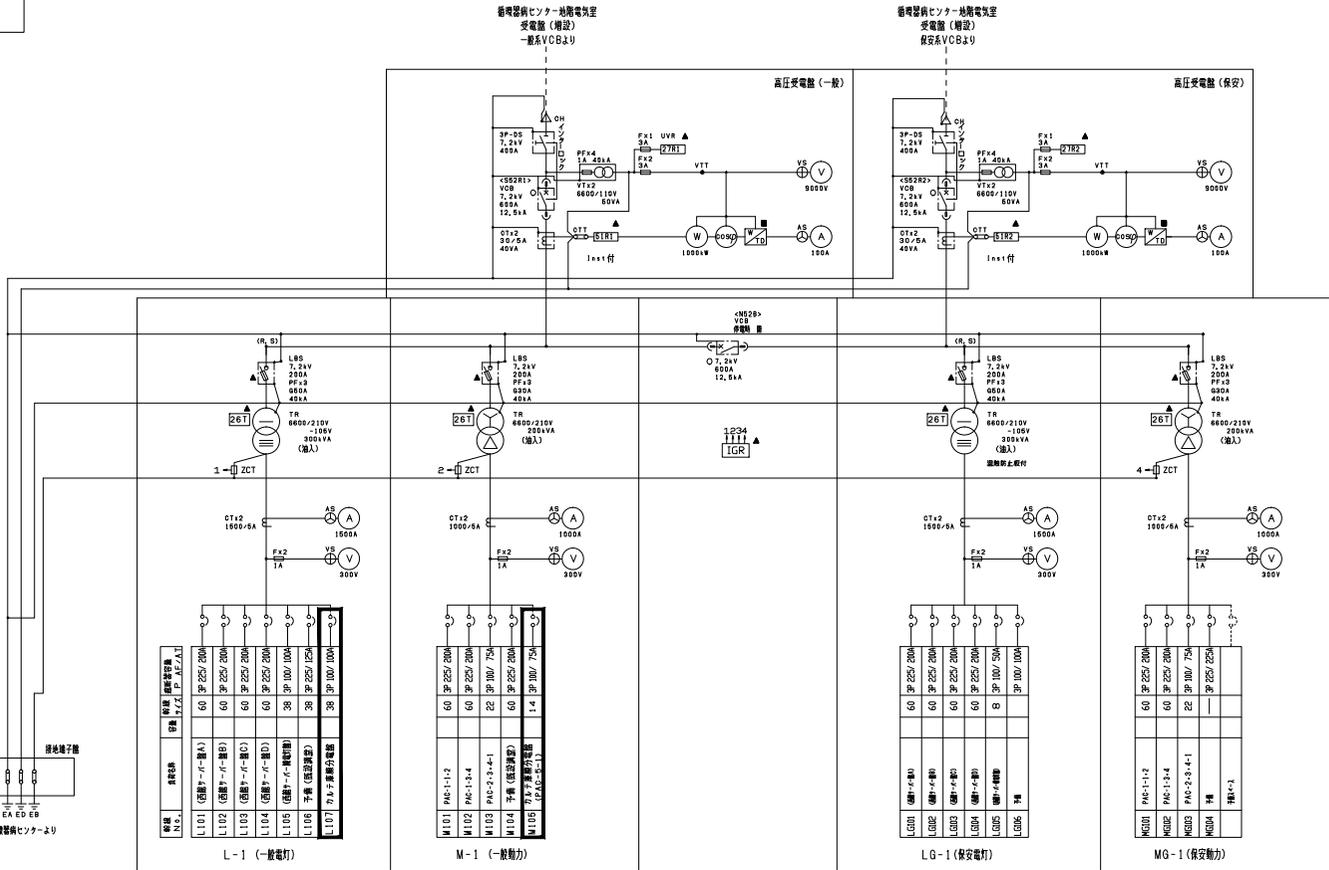
1. 形状・寸法等は参考とする。
2. 高圧盤は、JIS及びJEMに準拠すること。
3. 指示計器類は、110の高圧用型とし、5番とする。(電子式)
4. 換気扇(サーモスタット付)及び照明付とする。
5. MCD自働機に指名名プレートを取付けること。
6. 指定色機材指定とする。
7. フェンス及び基礎工事は別途仕様書とする。
8. 換気扇付外に於いて新築工は、
日本建築学会の発行の「建築設備設計施工設計」に基づき施工すること。

<凡例>

- VCB 真空遮断器
- LBS 高圧負荷開閉器
- PT-CT 計器用変圧(変流)器
- VS-AS 電圧(電流)計用挿入スイッチ
- A 電流計
- V 電圧計
- PTT 計器用変圧器用端子
- TR 進入自消式(防塵ゴム付)
- ZCT 零相検出装置
- PF 電力ヒューズ
- F ヒューズ
- THR ワーマリレー



屋外型キュービクル参考図



中央監視項目

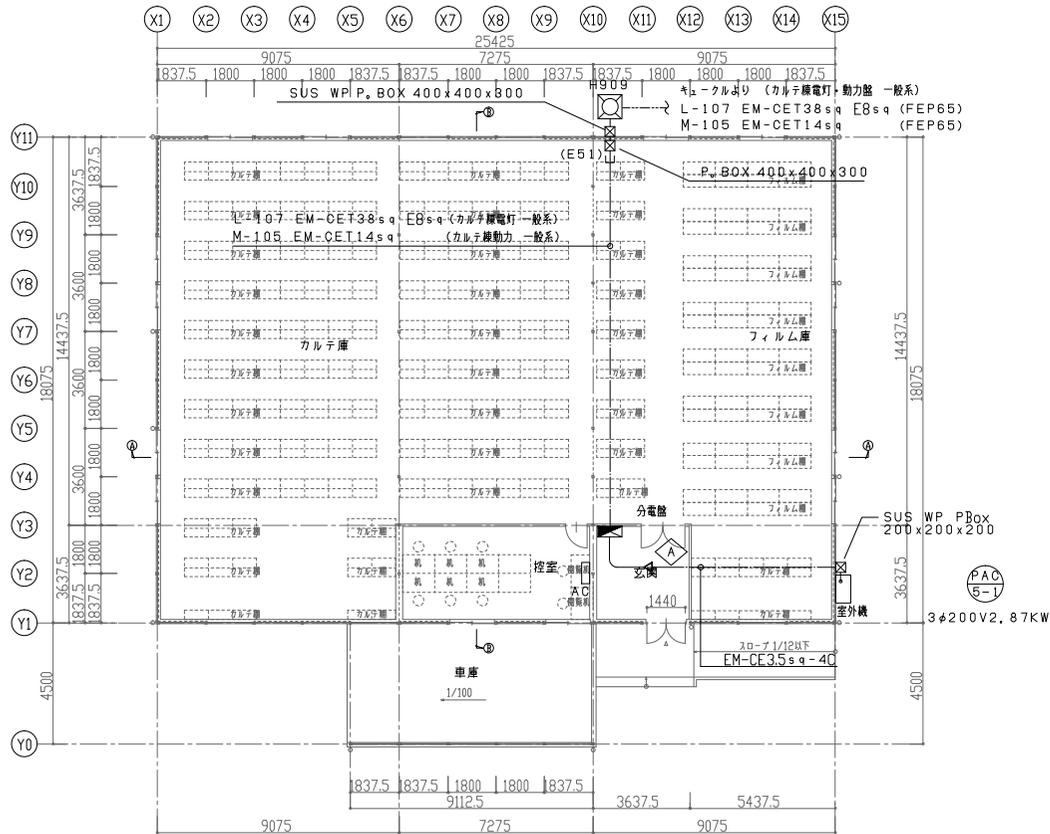
- : 状態
- ▲: 故障
- : 計測 (0~5V)

今回工事範囲を太枠で示す

- 配電給予備ベースに下記を組み
カルテ庫換電灯設備用
- MCCB100/100AT x 1
- カルテ庫駆動力設備用
- MCCB100/75AT x 1

器具名	器具形式	電気方式 器具名称 容量 (KVA)	回路 番号	電圧 (V)	分岐遮断器			遮断器 リモコンリレー	負荷容量 (VA)			備考		
					MCCB 50/20	MCCB 50/20	E/LCB 50/20		照明	コンセント	その他			
カルテ機 電灯・動力用 (電灯)	調光型 電灯 上部ダクト	AC 103W 200/100V MCCB 3P 100/100AT L=4146VA C=1800VA F=1770VA TO=7716VA	○	100	○							予備		
			①	100	○					1			誘導灯	
			①	200	○									予備
			②	200	○									予備
			①	100	○						400			玄関・控室 照明
			②	100	○						960			フィルム庫 照明
			③	100	○						800			カルテ室 照明
			④	100	○						880			カルテ室 照明
			⑤	100	○						960			カルテ室 照明
			⑥	100	○			○			145			外部・廊下 照明
			⑦	100	○							145		全熱交換機電源
			⑧	100	○							1625		換気Fan
			○	100	○									予備
			○	100	○									予備
			①	100	○						450			玄関・控室コンセント
			②	100	○						300			控室 コンセント
			③	100	○						600			フィルム庫・カルテ室 コンセント
			④	100	○						450			カルテ室 コンセント
			□	100	○									予備
			□	100	○									予備

◎ED



カルテ座: 0.9m×7段×346本=2179.8m<2103.1m
 フィルム座: 1.1m×4段×64本=281.6m>249.7m

凡例・注記

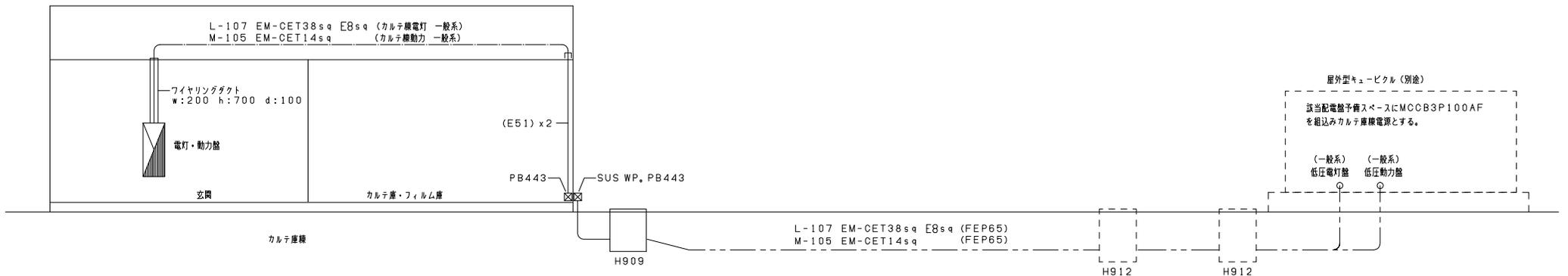
- H909 HH:900×900 (中耐荷重蓋)
- H912 HH:900×1200 (中耐荷重蓋)

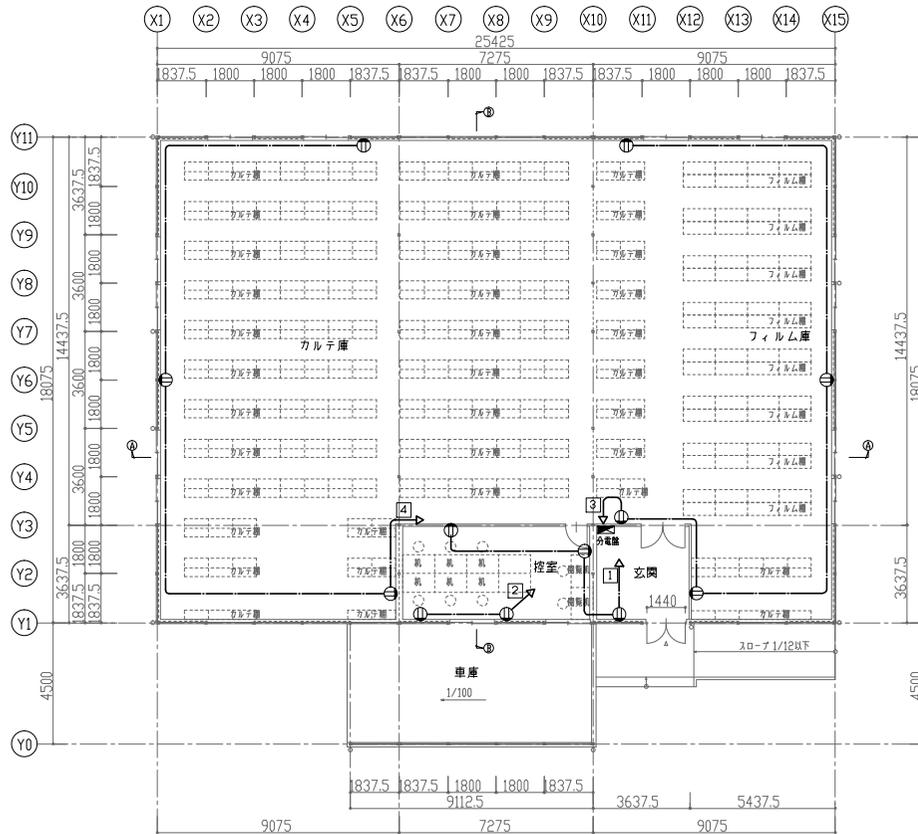
埋設表示杭

- WP, PB443 SUS, WP PBOX:400×400×300
- PB443 PBOX:400×400×300

破線表示はカーバー工事(別途)を表す。

配置図参照

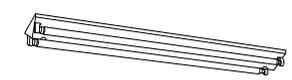




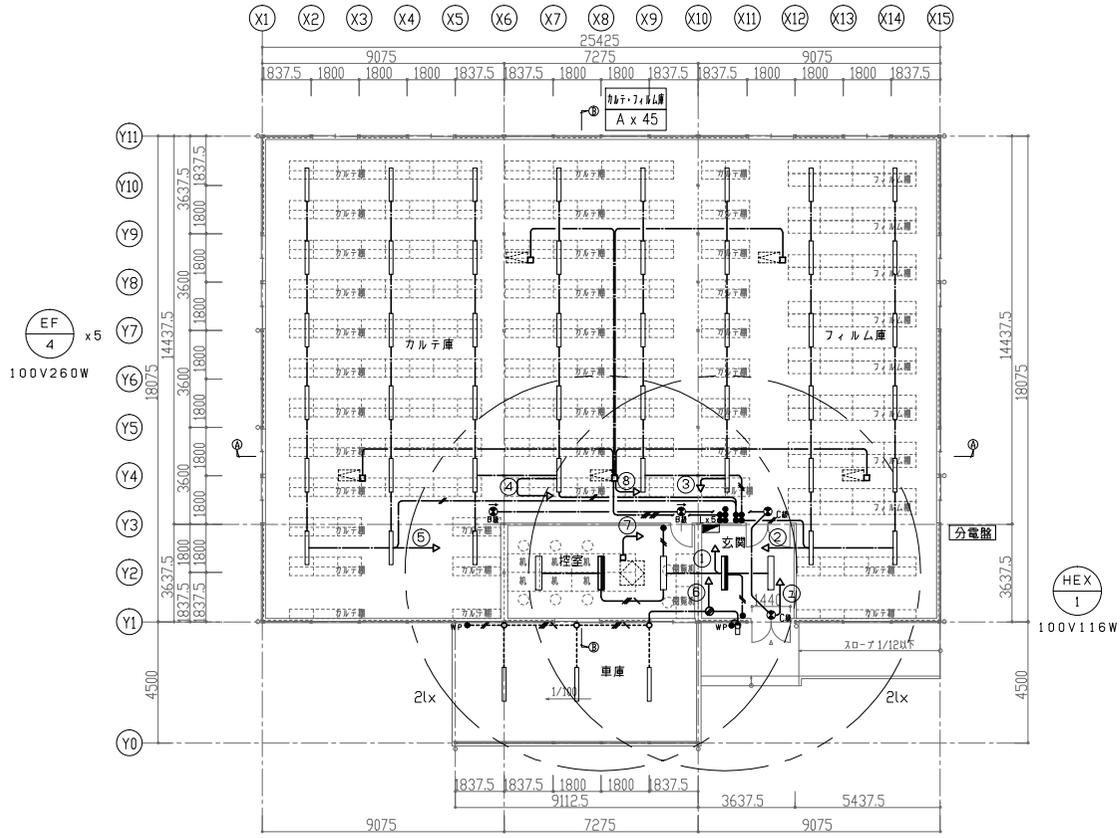
カルテ庫: 0.9m×7段×346本=2179.8m<2103.1m
 フィルム庫: 1.1m×4段×64本=281.6m<249.7m

凡例・注記

- ① : 2P15AE付×2ヶ口
- : EM-EEF2.0-3C(107-ス)
- 二重天井内はケーブル配線とし、壁立上げ、立下げ部分はPF管(22)にて保護すること。

<p>A FHF32WX1 富士型(環境配慮型)</p>  <p>ツイストラッチ採用 電圧100～242V 出力固定型 ランプフリー(FHF32/FLR40/FL40) エコ電球(高化ニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体:亜鉛鋼板(クロムレス) 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA41038FVPH9 相当品</p>	<p>B FHF32WX2 富士型(環境配慮型)</p>  <p>ツイストラッチ採用 電圧100～242V 出力固定型 ランプフリー(FHF32/FLR40/FL40) エコ電球(高化ニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体:亜鉛鋼板(クロムレス) 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA42001FVPH9 相当品</p>	<p>C FL20WX1 ウォールライト</p>  <p>防湿型・防雨型 低誘虫仕様 本体:ステンレス カバー:アクリル(乳白・低誘虫仕様) 壁付型 パナソニック JF21870GL 相当品</p>	<p>D FHF32WX1 反射付(環境配慮型) (防湿・防雨型) 低誘虫器具</p>  <p>電圧100～242V 出力固定型 エコ電球(高化ニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体:亜鉛鋼板(クロムレス・ホフイット) 反射板:亜鉛鋼板(ホフイット) シリンダ:ポリカーボネート(透明・低誘虫仕様) パナソニック JSF41270PH9 相当品</p>
--	---	--	--

<p>Bb FHF32WX2 富士型非常用 電池内蔵型</p>  <table border="1" data-bbox="761 1005 985 1181"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> <th>5.0m</th> <th>6.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>A1 5.1</td> <td>6.3</td> <td>6.4</td> <td>6.6</td> <td>6.9</td> <td>7.0</td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>A'1 5.1</td> <td>5.3</td> <td>5.4</td> <td>5.5</td> <td>5.7</td> <td>5.9</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>B1 4.2</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> <td>5.0</td> <td>5.2</td> <td>5.4</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>A2 14.0</td> <td>14.7</td> <td>15.2</td> <td>15.8</td> <td>16.8</td> <td>17.4</td> <td>17.8</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>B2 10.2</td> <td>10.8</td> <td>11.2</td> <td>11.8</td> <td>13.2</td> <td>14.1</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>A4 13.2</td> <td>13.8</td> <td>14.2</td> <td>15.2</td> <td>16.2</td> <td>16.7</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>B4 10.2</td> <td>10.7</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> <td>12.2</td> <td>13.3</td> <td>14.2</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>A0 1.9</td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.9</td> <td>3.4</td> <td>3.4</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>B0 2.2</td> <td>2.3</td> <td>2.4</td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>電球:蛍光灯、ソケット:ポリプロピレン・テフロンコート樹脂 電線:亜鉛不リエチレン絶縁電線、備考:電源内蔵型、型番LAFX-02 非常時10lm/1m²可照度、ホルツフリー(100～242V) ランプフリー(FHF32WX2/FLR40/FL40) ニッケル水素蓄電池使用 エコ電球(高化ニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体:亜鉛鋼板(クロムレス)、反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) パナソニック FSG42001FVPH9 相当品</p>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	器具取付高さ	A1 5.1	6.3	6.4	6.6	6.9	7.0	6.9	器具取付高さ	A'1 5.1	5.3	5.4	5.5	5.7	5.9	6.0	器具取付高さ	B1 4.2	4.4	4.6	5.0	5.2	5.4	5.4	器具取付高さ	A2 14.0	14.7	15.2	15.8	16.8	17.4	17.8	器具取付高さ	B2 10.2	10.8	11.2	11.8	13.2	14.1	14.8	器具取付高さ	A4 13.2	13.8	14.2	15.2	16.2	16.7	17.1	器具取付高さ	B4 10.2	10.7	10.9	11.1	12.2	13.3	14.2	器具取付高さ	A0 1.9	1.9	2.2	2.9	3.4	3.4	3.2	器具取付高さ	B0 2.2	2.3	2.4	1.9	2.2	2.2	2.3	<p>B級 LED B級BL型 通路誘導灯片面型 電池内蔵型</p>  <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・目し形 片面型 壁・天井取り付け 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 パナソニック FA20312LE1+FK20017</p>	<p>C級 LED C級 避難口誘導灯片面型 電池内蔵型</p>  <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級・片面型 壁・天井取り付け 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 パナソニック FA10312LE1+FK10000 相当品</p>
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m																																																																											
器具取付高さ	A1 5.1	6.3	6.4	6.6	6.9	7.0	6.9																																																																											
器具取付高さ	A'1 5.1	5.3	5.4	5.5	5.7	5.9	6.0																																																																											
器具取付高さ	B1 4.2	4.4	4.6	5.0	5.2	5.4	5.4																																																																											
器具取付高さ	A2 14.0	14.7	15.2	15.8	16.8	17.4	17.8																																																																											
器具取付高さ	B2 10.2	10.8	11.2	11.8	13.2	14.1	14.8																																																																											
器具取付高さ	A4 13.2	13.8	14.2	15.2	16.2	16.7	17.1																																																																											
器具取付高さ	B4 10.2	10.7	10.9	11.1	12.2	13.3	14.2																																																																											
器具取付高さ	A0 1.9	1.9	2.2	2.9	3.4	3.4	3.2																																																																											
器具取付高さ	B0 2.2	2.3	2.4	1.9	2.2	2.2	2.3																																																																											



EF
4
x5
100V260W

HEX
1
100V116W

控室 B x 2 Bb x 1	玄関 B x 1 Bb x 1
車庫 D x 3	玄関(屋外) C x 1

カルテ庫: 0.9m x 7段 x 346本 = 2179.8m < 2103.1m
フィルム庫: 1.1m x 4段 x 64本 = 281.6m > 249.7m

凡例・注記

スイッチ

- : スイッチ 1P15Ax1
- : " 1P15Ax4
- Lx5 : " 1P15A確認フラップ付x5
- WP : " 1P15Ax1 防水型

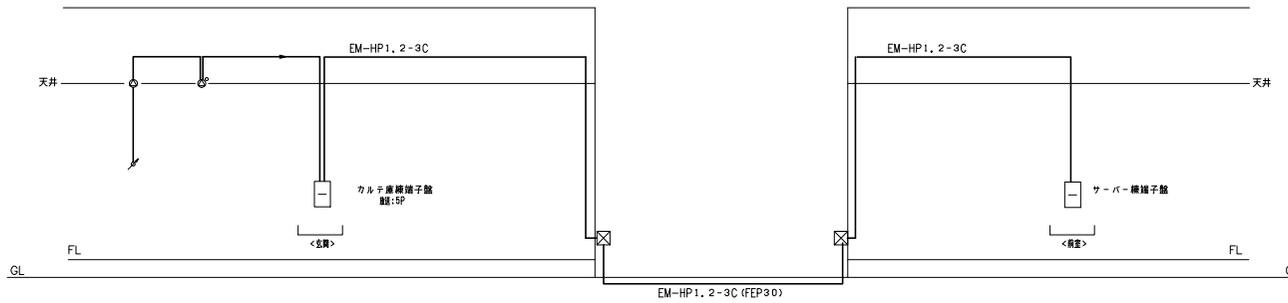
配線は下記による。

- : EM-EEF2, 0-3C (10アース)
- : EM-EEF2, 0-30+E1, 6
- : EM-EEF2, 0-2C
- : EM-IE2, 0x2 E1, 6 (E19)
- : EM-IE2, 0x3 E1, 6 (E19)
- : EM-IE2, 0x2 (E19)

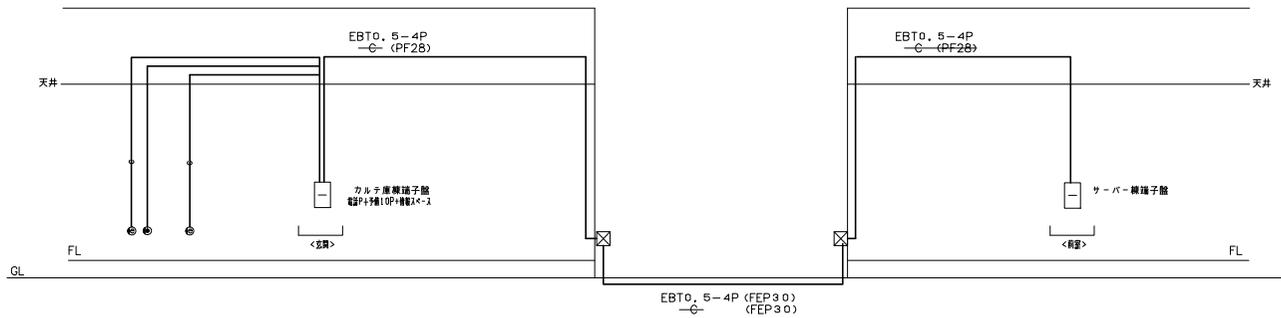
二重天井内はケーブル配線とし、立上げ下げ部分はPF管にて保護をする。

空調換気機器

- HEX 1 x 1 : 全熱交換機兼排気給気 以別別途空調工事
- 100V116W
- EF 4 x 5 : 換気ファン兼排気給気 SW取付配 以別別途空調工事
- 100V260W



放送設備 系統図



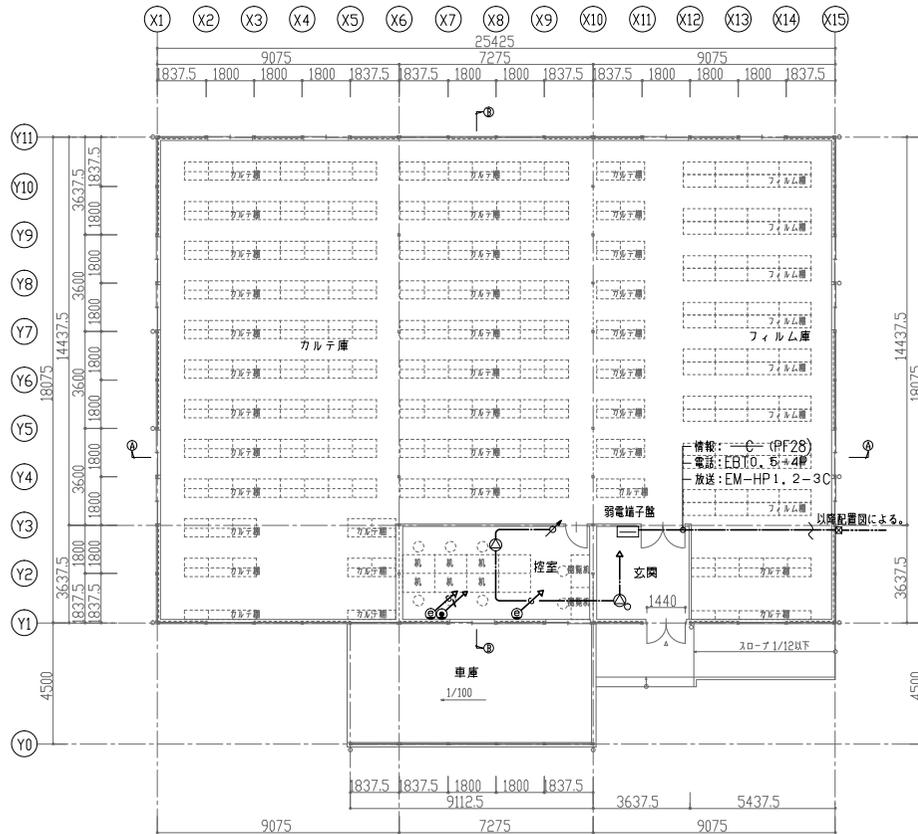
情報・電話設備 系統図

凡例・注記

放送設備	
	: 天井埋込みスピーカー
	: アッテネータ付
	: フッテネーク
	: EM-HP1, 2-3C
二重天井内はケーブル配線とし、壁立上げ、立下げ部分はPPF管(16)にて保護すること。	
電話配線設備	
	: 電話用アクトレット(フランクプレート)
	: EBT0, 5-2P (PF16)
二重天井内はケーブル配線とし、壁立上げ、立下げ部分はPPF管(16)にて保護すること。	
情報配線設備	
	: 情報用アクトレット(フランクプレート)
	: EBT0, 5-2P (PF22)
音響端子盤	
	: 音響 5P
	: 電話 5P
	: 情報 400x400スペース
	: 3C 10P

放送機器姿図

	天井埋込型スピーカー		音量調節器(6W型)																
	天井埋込型スピーカー アッテネータ付																		
<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W(3.3kΩ), 2W(5kΩ), 1W(10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB(1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>100Hz~12kHz</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>16cmコンツ型</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>ネット:アルミ オフホワイト</td></tr> </table>		定格入力	3W(3.3kΩ), 2W(5kΩ), 1W(10kΩ)	出力音圧レベル	92dB(1W, 1m)	周波数特性	100Hz~12kHz	スピーカー	16cmコンツ型	仕上	ネット:アルミ オフホワイト	<table border="1"> <tr><td>入力容量</td><td>0.5~6W(6W型)</td></tr> <tr><td>音量切換</td><td>5段階切換</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>プレート:アルミ</td></tr> </table>		入力容量	0.5~6W(6W型)	音量切換	5段階切換	仕上	プレート:アルミ
定格入力	3W(3.3kΩ), 2W(5kΩ), 1W(10kΩ)																		
出力音圧レベル	92dB(1W, 1m)																		
周波数特性	100Hz~12kHz																		
スピーカー	16cmコンツ型																		
仕上	ネット:アルミ オフホワイト																		
入力容量	0.5~6W(6W型)																		
音量切換	5段階切換																		
仕上	プレート:アルミ																		



カルテ庫: 0.9m×7段×346本=2179.8m<2103.1m
 フィルム庫: 1.1m×4段×64本=281.6m<249.7m

凡例・注記

放送設備	
	: 天井埋込みスピーカー
	: フットネータ付
	: フットネータ
	: EM-HP 1, 2-3C
二重天井内はケーブル配線とし、壁立上げ、立下げ部分はPF管(16)にて保護すること。	
電話配管配線設備	
	: 電話用アクトレット(ブラックプレート)
	: EBTO.5-2P (PF16)
二重天井内はケーブル配線とし、壁立上げ、立下げ部分はPF管(16)にて保護すること。	
情報配管配線設備	
	: 情報用アクトレット(ブラックプレート)
	: (PF22)
弱電端子盤	
	: 放送 5P
	: 電話 5P
	: 情報 400x400スペース
	: コビ 10P

記号	名称	仕様	備考	新設	既設
☐	中継器	盤			○
☐	機器	收容箱	露出箱型	◎○	收容
◎	P型	発信機	1級, アドレスサブル型		○
○	表示	灯	AC24V, LED		○
◎	終端	器	感知器用		○
☒	光電式	スポット型	感知器	2種, 非蓄積型, 小屋裏用	○
☒	差動式	スポット型	感知器	2種	○
○	定温式	スポット型	感知器	特種, 65℃	○
◎	警戒	区域	番号	火災表示用	
◎	警戒	区域	番号	火災表示用, 小屋裏用	
◎	警戒	区域	番号	アドレスサブル発信機用	
---	警戒	区域	線		
---	ケーブル	配線	天井いんべい		○
---	外	配線	地中埋設		○
---	配管	配線	いんべい		○
☐	ジャンクション	端子	プルボックス		○
☐	端子	盤			○

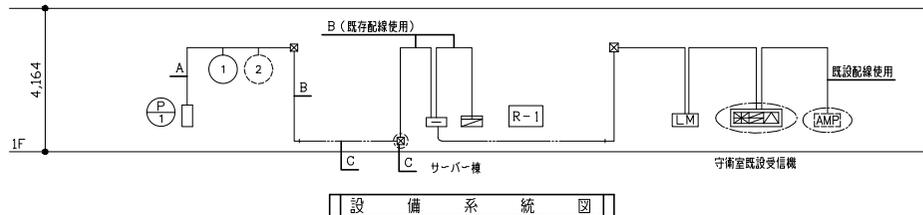
【注 記】

- 今回工事概要について
 - 今回工事はカルテ庫棟の新築工事に伴う、防災設備の新設・改修工事とする。
 - 改修に伴う端末機器について下記項目を行う
 - 自火報設備の新設を行う。
 - 既設非常放送へ移線を追加する。接点及び配線は予備を使用する。
 - サーバー棟既設中継器盤の予備スペースに今回工事分の中継器ユニットを増設設置(追加)する。
 - 改修に伴う複合GR型受信機について
 - 今回工事エリアの監視、制御は守衛室内の総合操作盤にて行い、下記項目を行う。
 - 受信機の設定変更(目録内訳参照)
 - 防災監視盤の設定変更(目録内訳参照)および画面変更等
- 1) 目録内訳:
- | | |
|------------------|----|
| 火災表示(一般感知器) | 2L |
| 火災表示(アドレスサブル発信機) | 1L |
| 計 | 3L |
- 2) 防災監視盤の画面追加(標準画面 1枚)
- 3) 移線信号内訳:
- 非常放送アンプへ (無電圧、a接点) 連動用火災信号(1L)
4. 感知器はすべて確認灯付とする。
5. 図面中の表現は下記とする。
- 実線 …… 新設
 - 細線 …… 既設
 - ◎ …… 結線替え
6. 特記なき、配管配線は下記に示す。
- EM-AE0, 9- 2C(19)
 - EM-AE0, 9- 4C(19)
- EM-AE; 警報用エコマテリアルケーブル
EM-HP; 耐熱エコマテリアルケーブル
2重天井部分はケーブルところがし配線とする。

中継器盤点数表

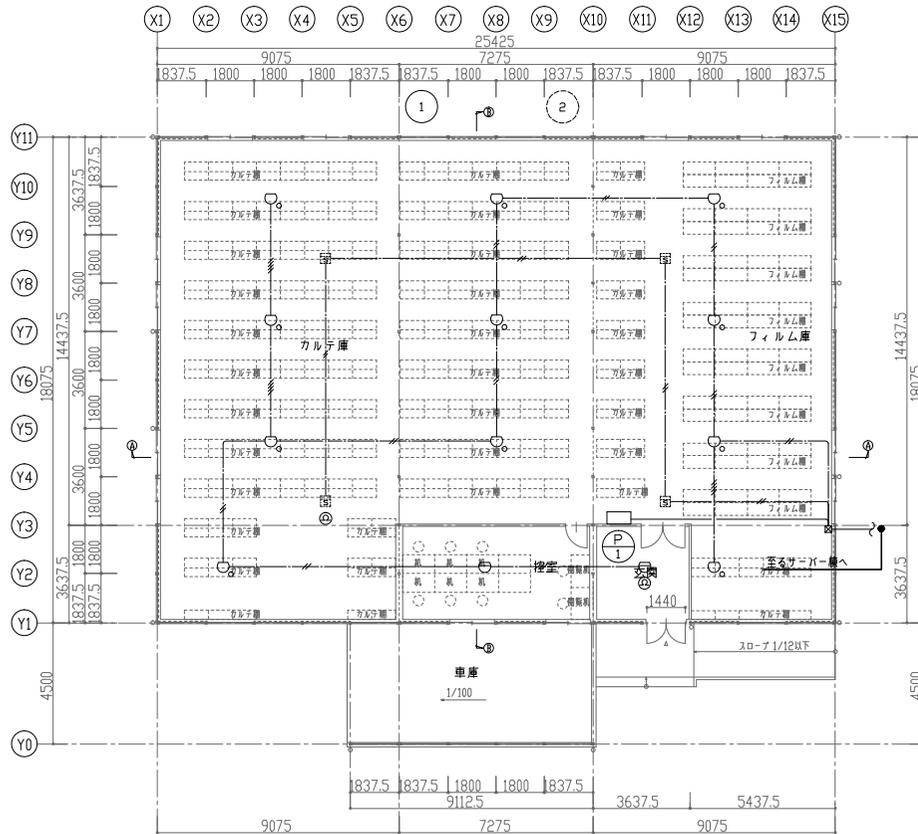
中継器盤名称	監視・制御エリア	自火報設備		伝送系統	
		火災・一般感知器	監視	伝送系統	火災・アドレスサブル発信機*
既設R-1	カルテ庫棟	2			1
合計		2			1

* : 中継器盤内ユニットに含みます



配管配線内訳表

記号	配管配線内訳
A	EM-HP1, 2- 5P(25)
B	EM-HP1, 2-10P(31)
C	EM-HP1, 2-10P(FEP30)



カルテ庫: 0.9m×7段×346本=2179.8m<2103.1m
 フィルム庫: 1.1m×4段×64本=281.6m<249.7m

特記なき配管配線及び立上げ下げの電線本数は系統図参照とする。